

『異文化理解』で、JICAの方に来ていただきました

1月12日(木)、『異文化理解』という科目で、JICAの石田純哉様にお越しいただき、お話を聴くことができました。海外派遣協力隊としてどのようなことを行っていたか、派遣先のガーナの文化など学ぶことができました。ガーナを含む発展途上国の現状を写真や動画などを使ってわかりやすく説明していただき、貴重な時間を過ごしました。少人数の授業ゆえ、講師の先生と生徒が深く関わることができ、たくさんの質問の手が挙がっていました。これを機に海外協力を興味・関心を持つ生徒が増えたようです。



【講演を聴いた生徒の感想（一部）】

- 海外に行くのは怖いと思っていましたが、旅行でもいいので行ってみたいと思いました。現地の人と触れると自分の中の世界が広がると思いました。
- 水は生きていく上で必ず必要となる資源なので一刻も早くきれいな水の改善を行う必要があると思いました。ひとりでも多くの人を救うためにもっと多くの人々が立ち上がるべきだということを改めて考えました。

講師の方の主な活動内容は、ガーナの水問題でした。そこではきれいな水を手に入れることが非常に困難で、ワニが生息する川にでも生活のために毎日水をくみに行きます。また、きれいではない水を飲んで病気になる人々が多く、深刻な社会問題を引き起こしています。

